

## 卒業にあたって

生涯教育専攻 4 回生 岸田 紘太

今回この卒業にあたっての掲載についてお話を頂き、自分の経験したことを形に出来る良い機会であると思ったため受けようと決めました。即答で受けさせていただいたにも関わらず、期限ぎりぎりまでかかってしまい卒業論文の時同様に先生方には本当にご迷惑をおかけし、本当に申し訳ありません。

私が、生涯教育専攻に入ったのは生涯教育専攻をもともと知っていたからということではなく、オープンキャンパスに参加したときにこの専攻のことを初めて知り、そして他の学科専攻と比べすごく面白そうだと感じたからです。そんな私ですから、1 回生の時は本当に大学に通い勉強するよりも、大学で友達と遊び、喋ることが楽しくて仕方ありませんでした。しかし 2 回生になったある頃に、いつものように研究室で喋っていると佐々木先生が来られて「サークル作ってみたい？」と誘いを受け立ち上げた「サークル ir-neT」です。この ir-neT でのサークル活動が、私が生涯教育専攻で経験したことの大部分を占めるほど大きな存在でした。

ir-neT 最初の活動は商店街の中心部にあるてんだりーColors (ir-neT の部室) で「集まって喋ること」。今考えても、サークル活動をしていたというよりは本当に友達と遊ぶ感覚だったように思います。しかし、喋ることから始まったサークルも毎週商店街の中心部にいたことから、商店街の商工会、青年部の方々と交流する機会ができ、その流れから天理本通り商店街で主催されるイベントの企画、運営に携わることになりました。イベントの企画、運営に携わることはサークル活動としては珍しく、他では出来ないようなことから、興味はありますが、その過程は私にとっては上手くいかないことばかりでした。商店街側や大学側も初めての試みで色々な方が出てこられて、全体会議も知らない人ばかりで緊張した思い出くらいしかありません。イベント当日も最初の企画会議からずっと参加していたにも関わらず、一学生スタッフと変わらず、ただボランティアに参加しただけのようなもので、私たちにとっての最初のサークル活動は大失敗だったと思います。ただ、その失敗したことやそこでの経験のおかげで 2 度目のてんりストリートでは、稲田酒造さんとのコラボ企画を ir-neT だけでするなど 1 度目とは違う、自分たちにしか出来ない活動ができました。実際、コラボ企画自体は大成功とまではいきませんでした。そこにいたる過程などすごく大きな経験が出来ました。

コラボ企画にいたる道のりは、1 度目のてんりストリートが終わってすぐに始まりました。毎週集まって友達同士で喋っていたサークル活動は、毎週集まって青年部の方と商店街について話し合うことになりました。大人数ではなく少人数での話し合いだったことや、堅い会議ではなく、雑談も交えつつの話し合いだったことから打ち解けることができ、

本音をぶつけることも出来ました。もちろん相手の方は商売をしておられる方なので、私たち大学生とは違うものの考え方、感覚を持たれていますので、ズレはありましたが、何度も何度も話し合い、交流することで、相手の方の考えていること思っていることも理解できるようになり、そして次第にコラボ企画の話が出るようになりました。そういった大学生同士では気づくことの出来ない考え方、感覚を知ることができ、そういった方々とある1つのイベントに向けて話し合えたことが私にとって貴重な経験であったと思います。

私は、この ir-neT を通しこういった貴重な経験だけでなく「繋がり」が出来ました。それはもちろん、友達と一緒にサークルを作り、イベントに参加したことから、より一層の絆ができたこともあります。また、私個人にとってはイベントを企画する会議の中で、地元高取町でまちづくりイベントが盛んに行われているという話を耳にすることができました。それまで、自分の地元を目を向けたことがなく、地元のことにはあまり興味を持っていませんでしたが、てんりストリートに参加した経験から地元のまちづくりにも興味を持つようになりました。結果として、卒業論文の主題にもすることになりましたし、地元のボランティア活動に積極的に参加するようになりました。

なんとなくから始まったサークル活動が、大きなイベントの企画に二度参加することになり、天理商店街の方と交流し、そして企画会議でたまたま地元の現状を知り、そのことに興味を持ったため卒業論文の主題とし、今はボランティアとしてさらに地元の方々と交流しといった「繋がり」です。全て ir-neT を作らなければ繋がらなかったと思うと、本当にサークルに参加して良かったなと思います。ただ1つ残念なことがあるとすれば、後輩にうまくバトンタッチが出来なかったことでしょうか。そこだけは今でも悔いが残ります。

生涯教育専攻は、幅広くいろいろ経験のさせてもらえる専攻だと私は思います。その幅広い経験の中から、1つでも興味を持てるものが見つければ大学生活がより充実したものになるのではないのでしょうか。専攻行事にはどちらかというと消極的であった私も、この ir-neT のサークル活動のおかげで、本当に楽しく充実した大学生活でした。

最後に4年間をともに過ごした友達、そして数え切れないほどのご迷惑をおかけしてきた先生方には本当に感謝しています。ありがとうございました。